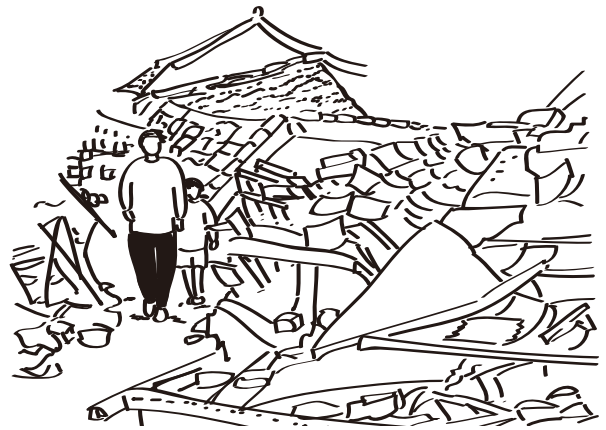


いつどこで発生するか
分からないのが地震。
日頃からの備えが重要に。



地震

あなたがどんな状況下にあっても、地震は突然起こります。家にいるときなのか、車を運転しているときなのか、真冬の日なのか、雨が降っている日なのか、旅行中なのか…。地震の発生は詳細な予測が困難です。しかし近い将来、有田川町を襲うとされている南海トラフ地震は、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると言われています。

南海トラフ地震などの海溝型の地震が発生するときには、地震の発生を事前に周知する緊急地震速報が鳴ってから一定の猶予があるとされています。しかし、中央構造線断層帯による直下型地震のときには、緊急地震速報よりも早く揺れが来ると想定されています。「緊急地震速報が鳴ってから動けばいいや」では、遅いのです。命を守る最善の行動を取るためには、日頃から備えておかなければなりません。

公助の機能に限界があるのが現実。平時時から自分（家族）の命は自分で守るといふ「自助」、周りの人と協力して1人でも多くの人を助ける「共助」を意識し、大規模災害に備える必要があります。

防災に対する考え方として、しばしば「自助」「共助」「公助」が取り上げられます。公助は「公的機関によって提供される援助」を指しますが、大地震などの大規模災害時には

では「警戒レベル3『避難準備・高齢者等避難開始』発令。避難に時間がかかる方は、避難を開始してください」などと放送します。

また、「警戒レベル4『避難勧告』」を発令したときは、安全な避難場所などへの立ち退き避難を基本とする避難行動をとってください。「警戒レベル4『避難指示（緊急）』」「警戒レベル5『災害発生情報』」を待つことなく、行動するようにならしてください。

「警戒レベル相当情報」とは気象庁や県などが発表する防災気象情報（風水害に関する情報）について、「警戒レベル〇（2～5のいずれかの数字）相当情報」について発表されます。

役場では警戒レベル相当情報を参考として総合的に判断し、避難情報を発令します。住民の皆さまは警戒レベル相当情報をもとに、主体的な避難行動につなげてください。